

例5： 「将来の夢について」

作文

標準

中等プログラム 5年

基準	A	B	C	D	E
得たレベル	-	-	7	6	-

背景

- この課題は中等プログラム (MYP) 5 年目の最後の学期に実施された。
- 制限時間は60分である。
- 生徒は試験監督の下で同課題に取り組んだ。
- 辞書や下書きは持ち込み不可としたが、短く箇条書きにした簡単なメモは持ち込み可とした。
- 課題のテーマは実施一週間前に生徒に知らされ、生徒は辞書や教師の手を借りて下書きを書いた。教師は下書きの文法の誤りに赤線のみを入れる、また生徒間に共通して見られた誤りや重要な誤りを指摘するといった指導も行なった。
- この課題は基準 C 及び基準 D内で評価してある。

評価

基準C 内容と構成

最高レベル8

この作品がレベル7を得た理由は以下の通りである。

- 情報の伝達が明確にかつ効果的に行なわれている。
- 内容の簡単なものから複雑なものまで、それぞれの理由付けも含め適切に述べられ、意見も正当化されている。(適切な理由と共に述べられている。)
- 序論、本論、結論が明確に、かつ効果的に述べられている。またトピックセンテンスを使い、すばらしい書き出しと締めくくりである。
- 適切な接続詞を用いており文章の流れが良い。

以下の項目が習得できていれば同生徒はより高いレベルに達したと思われる。

- 一週間の準備期間、辞書の使用、教師のアドバイス、箇条書きのメモの持ち込み可という甘い条件の下であれば、大学教育、家族といった情報等も書くことができたと思われる。

基準D 言語

最高レベル8

この作品がレベル6を得た理由は以下の通りである。

- 広範囲の語彙や文法事項を使用している。
- ひらがな、カタカナを正しく書き、かなり広範囲の基礎漢字を使っている。
- 時折、誤りが見られるが、話の流れを妨げるほどではない。
- このレベルとしては普通体をとてうまく使っており言葉遣いも適切である。

例5: 「将来の夢について」

以下の項目が習得できていれば同生徒はより高いレベルに達したと思われる。

- 一週間の準備期間、辞書の使用、教師のアドバイス、箇条書きのメモの持ち込み可という甘い条件の下であれば、もっと多種の語彙や文法事項が使えたと思われる。
- もっと多くの慣用的表現 (idiomatic expression) を使う。
- 全ての文を完結する。以下のような文章では不適切である。「-----は旅行 したい→と大きいな-----」、「-----旅行は高い→で私はお-----」

生徒回答

あなたのゆめについての作文さくぶんを書いてください。(400字)

「私の夢」

私はたくさんの夢がある。私は旅行したい→と大きな家がありたいといいしごとがありたいとたくさんの犬がいたいと金持になりたい。

この世界は本当に大きい。たくさんの有名な場所があるとたくさんの文化がある。私はぜんぶみたい。文化とあの国のりきしは本当におもしろい。これはたのしそうプランだ。でも、旅行は高い→で私はお金がない。いつが私はこの世界を見る。

私は金持ちをになりたいといいしごとをしたい。私は写真家とか歌手とかデザイナーとかゲームのキャラクターデザイナーになりたい。でもいまはまだわかりません。しかし、いいしごとする→と金持になる。金持になると楽な生活にきると思う。

私は大きな家がありたい。あの家の中にたくさんの犬がある。よつつがありたい。私の犬はバセットハウンドとかゴールデンレトリバーとかボクサーだ。あの家の外でおんせんがある。私のおんせんと日本のおんせんは同じだ。

私はたくさんの夢がある。でも、私はがんばると私の夢に本当のことになる。